

# 試験・研究

鳥取県林業試験場では、県民の暮らしに密接に関わっている森林を健全に守り育てるとともに、森林資源の循環利用を担う林業・木材産業の振興を図るための試験研究を行っています。



## ◎ 木材利用研究室 県産材の需要拡大に関する研究



スギの厚板を活用した地震に強い壁や床の開発



製材工場と協力して低コストで高品質な人工乾燥材生産技術の開発

## ◎ 森林管理研究室 森林・林業及び林地保全に関する研究



水音を聞いて地面の下を流れる水みちの位置を調べ、山地災害発生の防止に役立つ



ナラ枯れの状況（被害木が枯死して褐色に変色）

コナラ・ミズナラをナラ枯れから守るための試験研究

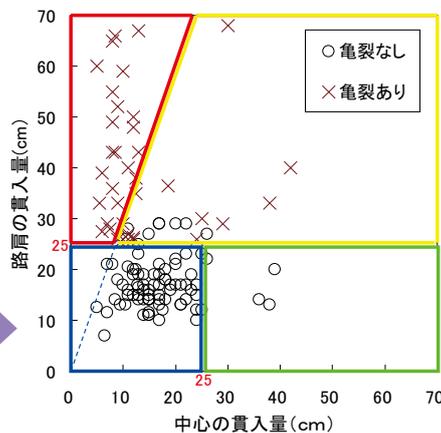


捕獲されたカシノナガキクイムシ

粘着バンドによるカシノナガキクイムシの捕獲



作業道の盛土の締め固めに関して、施工の良否を簡易に検査するための方法を開発



＜優良施工＞  
路肩・中心共に貫入量が25cm未満。締め固めが最も良好。亀裂の生じる危険性は極めて少ない。

＜中心軟弱＞  
路肩より中心の貫入量が大き。亀裂の生じる危険性は少ないが、中心の締め固め方法に対して指導が必要。

＜全体軟弱＞  
路肩・中心共に締め固め不良。中心付近に達する亀裂が生じる危険性あり。

＜路肩軟弱＞  
路肩の締め固め不良が顕著で亀裂が生じやすい。

おもりを5回落下させた時の貫入量を亀裂の有無別に取りまとめ判定区分を示した図(マサ土の場合)